

# 島根県石見地域 買物不便対策事例集

令和6年3月

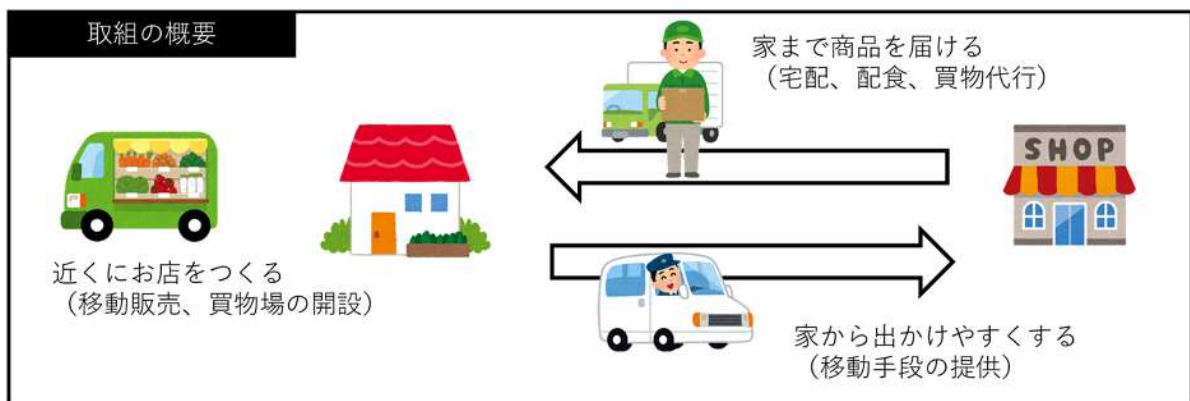
島根県西部県民センター

# はじめに

- 島根県では、昭和30年をピークに人口の減少傾向が進んでおり、加えて高齢化も進んでいます。このため、事業者の売上減少や後継者不足により地域から商店がなくなる事例が散見されています。
- また、この傾向は、松江市や出雲市など比較的大きな都市がある島根県東部と比べると県西部石見地域の方が顕著な傾向にあり、中山間地域に安心して住み続けることができるよう、買物ができる環境の維持継続が課題となっています。
- こうした中、石見地域の買物不便対策として、移動販売等のサービスを提供する事業者の取組事例を紹介し、持続可能な対策を検討する一助としていただくため本事例集を作成しました。
- 取材を行う中で、商品在庫の負担軽減、移動に係るコスト意識、お客様との信頼構築などの事業継続のポイントも浮かび上がりました。事業者の皆様、商工団体、行政等が持続可能な買物不便対策を考える際の参考資料として本事例集を活用いただければ幸いです。

## 本事例集における買物不便対策の定義

- 今回の事例集における買物不便対策とは、地域の“買物弱者”を支援する取組を指します。
- また、買物弱者とは、流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の買物が困難な状況に置かれている人々を指します。
- 今回の事例集で想定する具体的な取組は次のとおりです。



# 目次 Contents

## ■買物不便対策事例

本書は、石見地域の買物不便対策事例の中から、事業の立ち上げ・継続に様々な創意工夫が見られる事例を選出し、その取組について紹介するものです。(取組内容は令和6年3月時点のもの)

No.	事業者名称	所在地	区分	ページ
1	えびす商事株式会社	大田市大田町	移動販売	3
2	井田いきいきタクシー	大田市温泉津町	移動手段の提供	4
3	JALしまね 大和委託店舗	美郷町	宅配 買物場の開設	5
4	移動スーパーとくし丸 Aコープおおち店	美郷町(川本町)	移動販売	6
5	平成建設有限会社	川本町	配食	7
6	加藤商店	邑南町	移動販売	8
7	吉岡醤油有限会社	江津市桜江町	移動販売	9
8	有限会社やなぎ水産	浜田市原井町	買物場の開設	10
9	ローソン益田高津店	益田市高津	移動販売 買物場の開設	11
10	株式会社キヌヤ	益田市常盤町	宅配	12
11	移動スーパーとくし丸 まごころ市場	津和野町	移動販売	13
12	吉賀町社会福祉協議会	吉賀町	買物代行	14

## ■(参考)令和5年度石見地域買物弱者支援制度

# 移動販売

## えびす商事株式会社 (大田市)



### 事業概要

営業日 月～土  
営業時間 10:00～17:30  
営業エリア 大田市内全域  
美郷町大和、邑南町羽須美ほか  
訪問件数 約20件/日・台  
客層 80代～90代の高齢者  
取扱商品 日用品や食料品(惣菜が人気)  
販売方法 曜日毎に異なるルート上にある  
民家や公民館等を訪問し販売  
販売車数 3台(軽2台、1.5tトラック1台)  
販売人員 4名(男性)

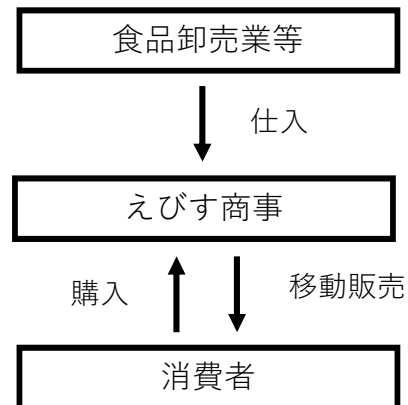
### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 昭和55年頃  
当時は市内の小売店が少なく、移動手段も限られていたため、多くの買物弱者が安心して食料品等を購入できる事業として開始した。

### 事業継続における工夫

- ・人口減少が進み販売先も減る中で、車両の老朽化も進んでいたため、補助金を活用し、販売車両をトラックから軽自動車に乗り換え維持費の抑制につながった。
- ・訪問先では、顧客の要望を聞き取り、翌週に商品を届けるサービスもあわせて実施。
- ・特に日配品等の賞味期限が短い商品は、在庫ロスが生じないように発注している。
- ・精肉の卸売業をあわせて実施しており、移動販売の売上げを補っている。

### 事業のイメージ



### 開始時の課題と解決策

新規顧客の開拓が課題であったが、地域の縫製工場への販売など大口の顧客を見つけることで事業を軌道に乗せた。車両取得費用の負担が大きいため、低利の融資制度を利用し利子負担を抑えた。

### 今後の展望・メッセージ

自身も高齢だが、待っている人のために頑張りたい。新しい車でできるだけ長く営業を行っていく。

# 移動手段の提供

## 井田いきいきタクシー (大田市)



### 事業概要

営業日 月～金(祝日と年末年始は休業)

営業時間 8:30～16:30

営業エリア 井田地区全域  
温泉津地区(指定箇所)

利用件数 平均8人程度/日

客層 主に高齢者だが、通学利用も想定

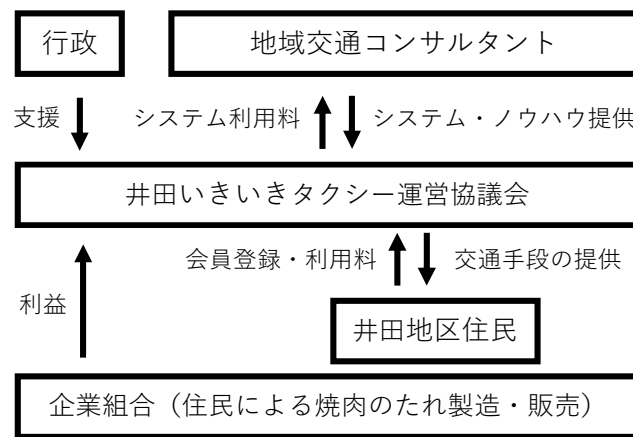
利用方法 会員登録後、電話で利用希望日時  
を乗車の前日までに予約

利用料金 3,300円/月(大人)  
1,650円/月(小学生)

車数台数 1台(普通車ミニバン)

運転人員 6名(基本は内1人で運行)

### 事業のイメージ



### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 令和4年4月

乗合タクシーを運行していた民間事業者が  
廃業し、地域で交通手段を確保するため、協  
議会を立ち上げて運行を開始した。

### 事業継続における工夫

- ・導入したシステムにより、AIが効率的な運  
行ルートを判断し運転手のタブレットに表示  
するため、移動ロスを最小限にできている。
- ・都市部に住む、親の見守りを希望する子世  
代に向け、タクシー定額運賃と利用状況のお  
知らせサービスをセットにした「仕送りサブス  
ク」を始め、関西地区の市人会等でPRするこ  
とで利用者確保に努めている。
- ・自治会で中小企業からの作業受託等を請け  
負い、タクシー利用者が自らの収入を確保す  
ることで、利用料負担を軽減している。

### 開始時の課題と解決策

高齢者にとっては、月3,300円の利用料も  
負担であり、会員確保に苦労した。自治会の  
役員や集落支援員を通じ、パンフレットを配  
布、PRすることで少しずつ会員が増えた。  
スマホに慣れない高齢者でも利用しやすい  
よう、電話による受付とし、担当者がシステ  
ムに利用希望日時を登録している。

### 今後の展望・メッセージ

生活交通の確保に加え、草刈なども組織的  
にできる仕組みを考え、健康で楽しく住み続  
けられる地域を維持していきたい。

# 宅配・買物場の開設

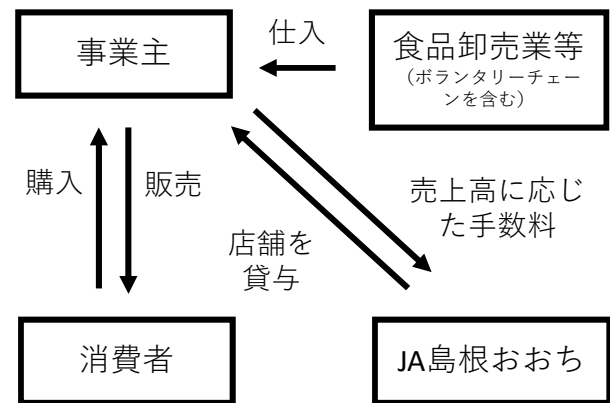
## JALしまね 大和委託店舗（美郷町）



### 事業概要

営業日 月～土  
店舗営業時間 8:00～18:00  
(土曜・祝日は正午まで)  
営業エリア 都賀・長藤・上野・比之宮地区  
宅配訪問件数 5～6軒/週  
客層 主に60歳以上、独居も多い  
取扱商品 日用品や食料品  
販売方法 宅配は電話を受けて随時対応  
第1水曜日は比之宮公民館で販売  
販売車数 1台(軽貨物バン)  
販売人員 1名(男性)

### 事業のイメージ



### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 平成21年4月  
Aコープの撤退が決まり、農協が委託先を模索していたところ、商店の担い手不足の現状を打開しようと依頼を引き受け開店した。

### 事業継続における工夫

- ・第1水曜日には比之宮公民館に併設された診療所が開院することやサークル活動が実施されるため、地区の住民が比較的集まりやすい。この日に合わせて買物場を開設することで地域住民の買物を支援できるほか、売上げにも貢献している。
- ・仕入れが週3回に減ったことから、在庫管理に力を入れロスが生じないように努めている。ミニサイズのカップ麺等の人気商品は在庫を切らさないよう多めに発注している。

### 開始時の課題と解決策

事業開始から数年後、JAの移転に伴い新築の店舗で営業ができることになった。そのことから、比較的新しい設備で営業できている。人口減少が進む中で売上げは当初に比べて減ってきているため、店舗の委託手数料をJAと交渉しながら営業している。

### 今後の展望・メッセージ

商圈人口の減少に比例して売上げが減少している傾向にあるが、なかなか来店できない方の近くに商品を持っていき、選んで買ってもらう楽しみをいつまでも持ってほしい。

# 移動販売

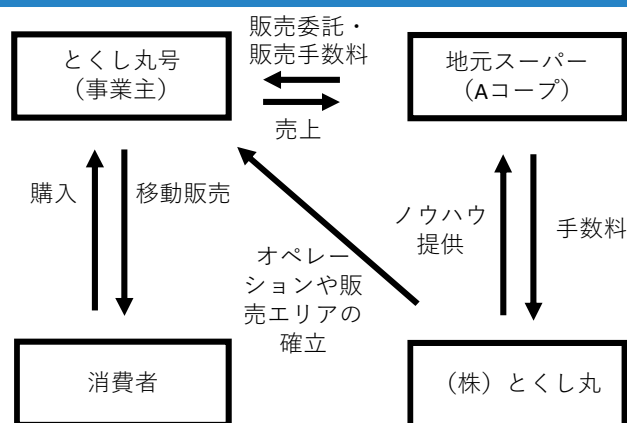
## 移動スーパーとくし丸 Aコープおおち店 (美郷町)



### 事業概要

営業日 月～金(土・日は休み)  
営業時間 9:30～16:30  
営業エリア 川本町全域、美郷町旧邑智地区  
旧大和地区の一部(潮地区)  
訪問件数 約30件/日  
客層 80代～90代の高齢者  
取扱商品 食料品(常温・冷蔵・冷凍品でアルコール以外はなんでも)や日用品  
販売方法 曜日毎に異なるルート上にある  
民家を訪問し販売  
販売車数 1台(軽1台)  
販売人員 1名(男性)

### 事業のイメージ



### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 令和3年3月頃  
地域の買物弱者の存在に加え、コロナ禍で外出が制限されていたため、個人宅の訪問販売に商機を感じ事業を始めた。

### 事業継続における工夫

- ・「とくし丸」の仕組みを活用することで、車両とその維持費の負担だけで営業ができています。Aコープの商品を代理販売する形なので在庫リスクもない。
- ・事業継続のためには、お客様との信頼関係の構築が大切だと感じており、そのために時間があるときには会話を楽しんだり、買上げ商品を家の中へ運んだり、自身でできることは対応するようにしています。
- ・持ち合わせていない商品を翌週届けてあげることも関係構築につながっている。

### 開始時の課題と解決策

販売先の開拓とロスのないルート設定が開業当初の課題であったが、Aコープ西日本の担当者と1軒ずつ個人宅を訪問しチラシで説明することで販売先を開拓した。また、ルート作成についてもAコープ西日本のフォローがあり効率的なルート設定ができた。

### 今後の展望・メッセージ

「とくし丸」を活用した移動販売はこれからも継続していきたいと考えているが、高齢者の困りごと解決に資するような取組も移動販売とあわせて実施していきたい。

## 平成建設有限会社 (川本町)

### 事業概要

営業日 月～土(正月、GW、お盆休みあり)  
営業時間 お昼 11:00～12:00  
夕方 15:30～17:00  
営業エリア 川本町全域、桜江町の一部、  
温泉津町の一部、邑南町の一部  
配食件数 60～90件/日  
客層 主に高齢者(独居の方)、地元企業等  
取扱商品 弁当、おかず、オードブル、折など  
販売方法 弁当は前日までに電話で発注  
(オードブルなどは3日前まで)  
販売車数 2台(軽貨物バン)  
販売人員 2名

### 事業を始めたきっかけ

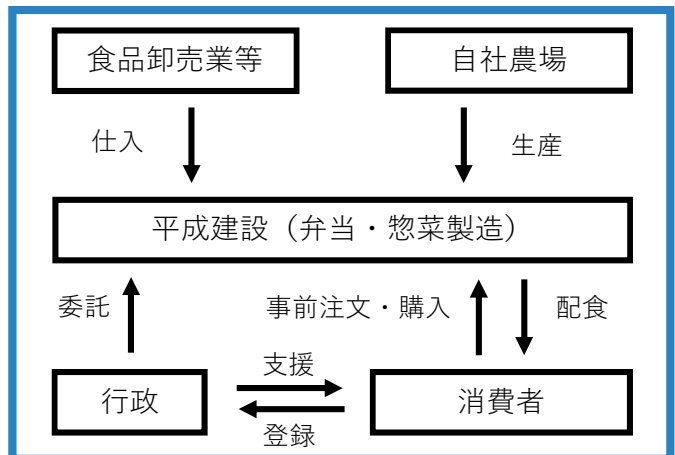
事業開始時期 平成26年5月  
公共事業の閑散期対策として、有機野菜の  
農場経営を始め、規格外農産物の処理に  
困っていたところ、独居の高齢者からの依頼  
もあって開始した。

### 事業継続における工夫

- ・オードブルや法事折りなどは、金額に合わせて製造しており、客単価も大きく自治会やスポーツ大会の打上げなどで広く使ってもらっている。
- ・町から指定高齢者の配食サービス事業を受託しており、配食数に応じた委託料が入るため、原材料やエネルギー価格高騰の中で大変助かっている。



### 事業のイメージ



### 開始時の課題と解決策

原材料費や調理員の人件費を踏まえた弁当の内容と販売価格設定が難しかった。自社で加工場を新設し、営業許可も取得。自社農場で取れる季節のお野菜や浜田の新鮮なお魚を使ったメニューで徐々に顧客を増やしていった。

### 今後の展望・メッセージ

人手不足の中で調理担当者の人材確保が課題ではあるが、一方で高齢者からの配食ニーズは高いため、様々な工夫をしながらお弁当の製造を続けていきたい。



# 移動販売

## 加藤商店 (邑南町)



### 事業概要

販売日 月・水・金  
販売時間 14:00~17:00  
販売エリア 邑南町阿須那地区及び口羽地区の一部  
訪問件数 10件~15件/日  
客層 70代以上の高齢者  
取扱商品 食料品(肉・魚・野菜・果物・日配品・パン・菓子・惣菜等)や日用品  
販売方法 曜日毎に異なるルート上にある民家を訪問し販売  
販売車数 1台(軽1台)  
販売人員 1名(男性)

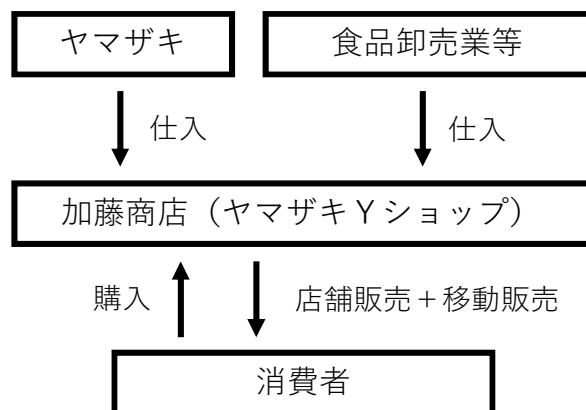
### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 平成28年6月頃  
地域のお年寄りが買物に困っている姿を見て、支援になればと考え開始した。

### 事業継続における工夫

- ・令和2年6月頃から店舗の形態をYショップに変更したところ、商品ラインナップが充実した。また、仕入れもタブレットで毎日発注できるため、賞味期限の短い食品の管理がしやすくなった。
- ・ヤマザキだけでなく浜田市から直接魚や寿司を仕入れ、人気の高い商品の充実させることで魅力を高めている。
- ・依頼があれば随時商品を届けるサービスをあわせて実施することで、地域住民との関わりを大切にしている。

### 事業のイメージ



### 開始時の課題と解決策

- ・販売先の開拓とルート決めに苦労した。1軒ずつ地道にPRし、現在では口コミで広がり、訪問依頼を受けることもある。
- ・役場に相談したところ、移動販売車両の取得に活用できる補助金が見つかり活用した。

### 今後の展望・メッセージ

地域の人口減少や自身の高齢化の問題もあるが、Yショップの強みを活かして今後も移動販売を続けていきたい。

# 移動販売

## 吉岡醤油有限公司 (江津市)



### 事業概要

営業日 月～土  
営業時間 9:00～17:30  
営業エリア 江津市全域、浜田市全域、  
 邑智郡全域  
訪問件数 約30～40件/日・台  
客層 主に60代以上の高齢者  
取扱商品 食料品(菓子、パン、日配品、冷凍  
 冷蔵の肉・魚、農産物、惣菜など)  
販売方法 決まったルート上にある民家や  
 公民館等を訪問し販売  
販売車数 2台(普通車バン2台)  
販売人員 2名

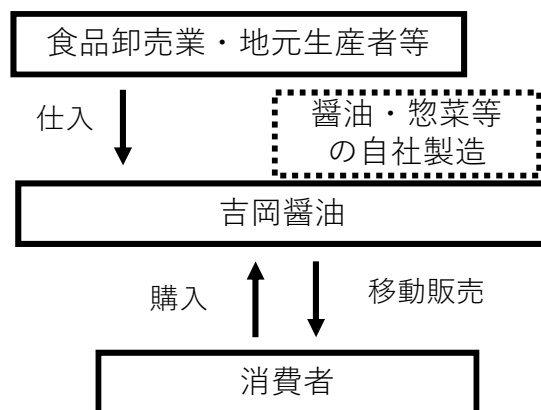
### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 平成25年頃  
自社で製造・販売・配達していた醤油の売れ行きが悪くなっていたところ、お客様から食料品の販売を求める声を受けて、少しずつ商品を増やしたのがきっかけ。

### 事業継続における工夫

- ・食料品の販売を行う中で、惣菜のニーズが高いことに気づき、自社で惣菜製造許可を取得し販売を開始した。高齢者施設や駅前のサロンなど人が多く集まる場所へ出展し販売を行うことで売上げに貢献している。
- ・今では、定期的にSNSで惣菜メニューを配信し、注文を受け配達するサービスも実施。地元企業で働く若年層からも注文がある。
- ・移動販売車両の更新に補助金を活用することで、更新費用を抑えることができた。

### 事業のイメージ



### 開始時の課題と解決策

在庫ロスを減らすことが課題であったため、商工会へ相談し、数年前に補助金を活用して「エアレジ」を導入。在庫の管理がしやすくなり、また、それまで手作業で記帳・集計していた販売情報や売上額もデータで管理できるようになり生産性が向上した。

### 今後の展望・メッセージ

自社の商品で味付けした惣菜を製造・販売することで、「大亀醤油」の味や使い方を知ってもらいつつ、地域の方々の買物支援にも貢献していきたい。

# 買物場の開設

## 有限会社やなぎ水産 (浜田市)

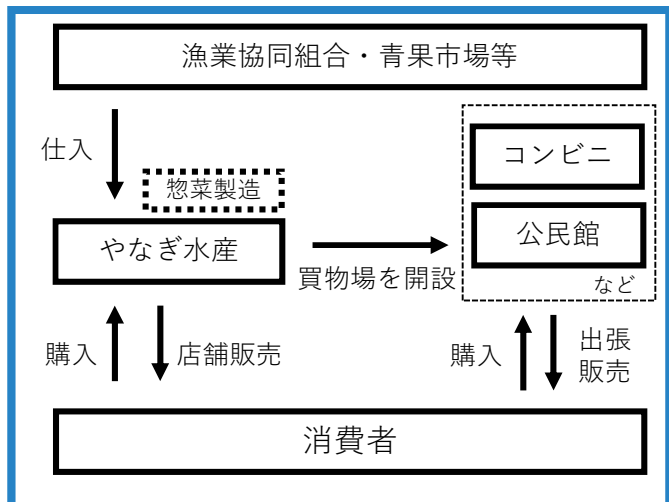


### 事業概要

営業日 月、火、木、金、日  
営業時間 概ね9:00~14:30頃まで  
営業エリア 旧浜田市、旧金城町、旧旭町、  
江津市(波子・渡津・敬川地区)  
邑南町(井原地区)  
訪問件数 3~7か所/日  
客層 主に高齢者  
取扱商品 鮮魚、青果、干物、佃煮、寿司など  
販売方法 主に公民館やコンビニの駐車場  
など毎週決まった箇所を訪問  
販売車数 1台(1トラック)  
販売人員 1名



### 事業のイメージ



### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 平成21年頃  
高齢化の進展に伴い、買物弱者が報道で取り上げられるようになり、お年寄りにも安くおいしいお魚を届けたいと考え事業を開始した。

### 事業継続における工夫

- ・販売担当者と仕入担当者の連携を密にし、売れ筋商品を手厚く準備している。また、魚にこだわり、他店より価格を安く設定することでお店のファンを増やす努力をしている。
- ・販売場所は、決まった魚の納め先までにある拠点を基本とし、一定程度の集客が見込める場所を採算性を考慮して選定している。
- ・鮮魚等の販売に加え、惣菜の製造販売を行うことで売上げに貢献している。

### 開始時の課題と解決策

- ・開始当初は販売先での集客に苦戦した。お客様とコミュニケーションを取り、ニーズにあった商品を取り揃えることで地道に顧客を増やしていった。
- ・夏場の食中毒等を防止するため、保健所が開催する講習会に参加すること等で衛生管理の知識を高め、社内でも広めていった。

### 今後の展望・メッセージ

良いものを安く販売することで、買物に行くことが難しいお年寄りに頼っていただけ、地域に根付いた店づくりをしていきたい。

# 移動販売・買物場の開設

## ローソン 益田高津店 (益田市)



### 事業概要

営業日 月～土(日・祝は休み)  
営業時間 訪問先毎に約30分間  
営業エリア 概ね店舗から30分圏内  
訪問件数 2～4か所程度/日  
客層 主に高齢者(店に買物に行けない方)  
取扱商品 食料品や日用品(ローソンの取扱い商品+個店仕入れ商品)  
販売方法 訪問依頼を受け1～3か月前までに訪問先を決定(訪問先は主に介護施設や公民館)  
販売車数 2台(ローソン号1台、軽バン1台)  
販売人員 専属1名+補助人員3名

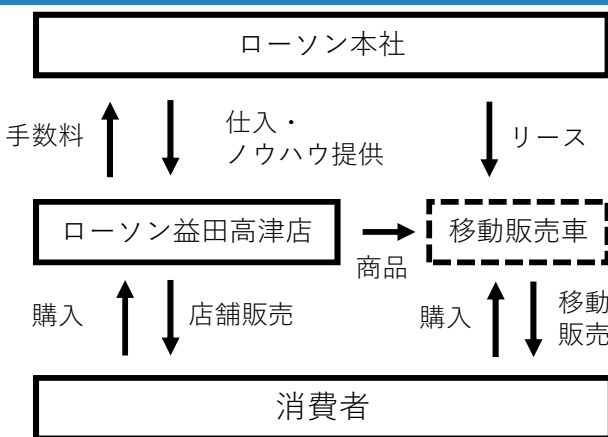
### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 令和4年10月頃  
元々、困っている人たちへ物を届けたいという思いがあったが、ローソンが移動販売事業を始めたことや、コロナ禍で宅配が重要視され始めたこともあり事業を開始した。

### 事業継続における工夫

- ・ローソン本社より移動販売車両1台が無償で貸与されるため、車両の取得費なしで移動販売ができています。また、移動販売先でも店舗と連動したPOSレジが使えるため、売上げの集計等も手間がかからない仕組みとなっている。
- ・本格的な販売ルートは現在検討中であるが、介護施設や公民館等の拠点に加え、ルート上にある個人宅へも販売していきたい。

### 事業のイメージ



### 開始時の課題と解決策

- ・販売先の確保が課題であったが、ローソン本社が作成した移動販売サービスの広報チラシを持って、介護施設や公民館へ広報にまわった。
- ・ローソン本社から貸与される車両が人目を惹く外装となっており、車両を見た人から問い合わせや依頼があり、口コミでの広がりもある。

### 今後の展望・メッセージ

まずは、買物に困っている人に商品を届けて喜んでもらい、知っていただくことで、今後の売上げ規模を広げていきたい。

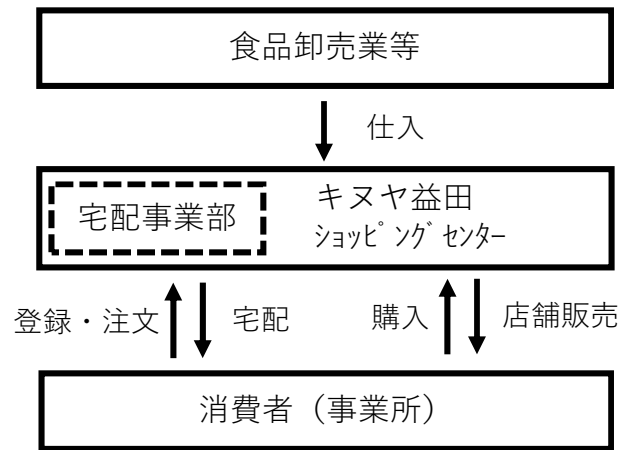
## 株式会社キヌヤ (益田市)



### 事業概要

営業日 月、水、木、土  
営業時間 9:00~18:00  
営業エリア 益田SCから概ね20分圏内  
宅配訪問件数 平均40件/日  
客層 ご高齢の方、小さなお子様がいる方、  
共働きで帰りが遅くなる方  
取扱商品 益田SCにある食料品と日用品  
販売方法 会員登録後カタログを見てイン  
ターネット又はFAXで注文(い  
ずれも不可の場合は電話注文)  
販売車数 3台(軽3台)  
販売人員 3名(ドライバー)  
会員料金 482円(税抜)/1か月  
配送料金 93円(税抜)/1回(1回の買物  
が2,000円以上の場合は無料)

### 事業のイメージ



### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 平成10年5月  
自宅近くに店がない、店まで行く車がない、  
体が不自由で買物に行けない、重たいもの  
を買っても家まで帰れないなどの買物弱者  
に対応したいと宅配事業を開始。

### 開始時の課題と解決策

益田SC1店舗で注文いただいた商品数が揃  
わない場合があり、キヌヤの他店舗に取り  
に行き揃えている。また、それでも揃わ  
ない商品は市内の他スーパー等で調達  
しており、できる限り商品の充実に努  
めている。

### 事業継続における工夫

- ・基本的に店舗の商品を配達するので、在庫が生じるリスクが低い。
- ・個人会員に加え、事業所様への入会を募ることで、より多くの方に利用していただけるよう努めている。
- ・配送にはキヌヤ独自のラッピングカーを使用し、商品を届けると同時に宅配事業をPRしている。

### 今後の展望・メッセージ

宅配を利用しているお客様などへの訪問を通じて、現状の不満などを聞き取り、よりよいサービスとなるよう努めていきたい。また、新規会員の募集も強化していきたい。

# 移動販売

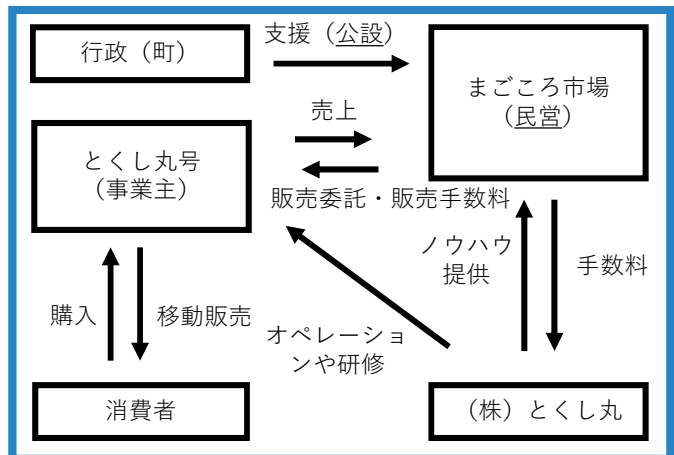
## 移動スーパーとくし丸 まごころ市場（津和野町） （旧移動スーパーまごころ号）

### 事業概要 (R6.4月～予定)

営業日 月～土(日は休み)  
営業時間 10:00～16:30  
営業エリア 津和野町全域  
訪問件数 約30件/日  
客層 日々の買物に困難を抱えている方々  
取扱商品 食料品や日用品  
(まごころ市場の商品)  
販売方法 週2回訪問×3ルート  
(月木・火金・水土)  
個人宅、広場、施設などで販売  
販売車数 1台(とくし丸専用車両)  
販売人員 1名(男性)



### 事業のイメージ (R6.4月～予定)



### 事業を始めたきっかけ

事業開始時期 平成27年3月頃  
仕事でお年寄りとふれあう機会があった際、近くにお店がなくて困っているという話を聞き移動販売事業を開始した。

### 事業継続における工夫

- ・日原地区唯一の生鮮食品を扱うスーパーが閉店見込みとなり、町が建物を提供し株式会社丸久が店舗運営を行う公設民営方式(まごころ市場)で存続することになった。
- ・今後は株式会社丸久所属のとくし丸16号となり、まごころ市場の商品を丸久の委託を受け販売する形となったので、これまで以上の品揃えでお客様に喜んでいただけている。また売上高データの蓄積、活用が容易になるため生産性を向上させ、より多くのお客様へ訪問できるようになる見込み。

### 開始時の課題と解決策

平成27年の開業当初からとくし丸号による事業を考えたが、提携スーパーがなく断念。個人で店舗を構えずに移動販売を開始するも、在庫の扱いに苦慮した。また、仕入値が高かったこと、仕入先までのガソリン代も嵩み利益を出すことが難しい状態であった。

### 今後の展望・メッセージ

丸久、とくし丸本部や行政の力も借りながら、買物が不便な人々に対して、自分が来てくれるからよかったと思ってもらえるよう移動販売を継続していきたい。

# 買物代行

## 吉賀町 社会福祉協議会 (吉賀町)

### 事業概要

営業日 月～金  
営業時間 10:00～15:00  
営業エリア 吉賀町全域  
利用実績 約20件/月  
客層 65代以上の独居の高齢者  
代行商品 食料品(菓子、パン、日配品、冷凍冷蔵の肉・魚、農産物、惣菜など)  
利用方法 前日までに予約しておき、ボランティアが、利用者宅を訪問し、買物メモと金銭を受けとって買物  
ボランティア数 9名(謝金1,000円/回)  
利用料 300円/回

### 事業を始めたきっかけ

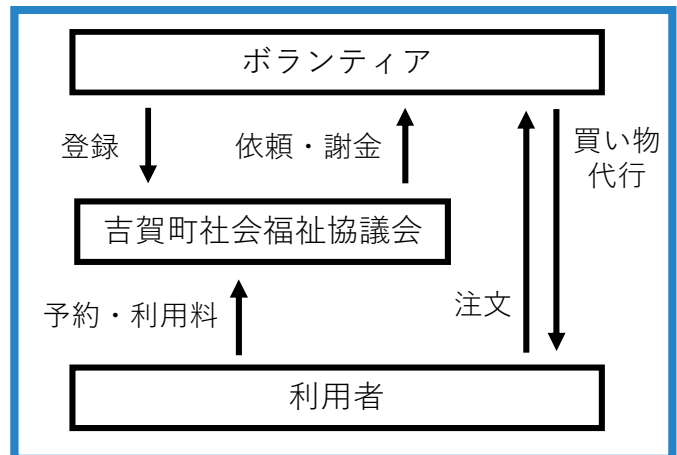
事業開始時期 令和5年4月  
令和3年、4年に地域支えあい会議で福祉課題を話し合っ、要望として出たことがきっかけ。毎回話題となったため、令和5年に実行に移した。

### 事業継続における工夫

- ・利用者の細かいニーズに応えるため、なるべく同じボランティアとマッチングできるように配慮している。
- ・買いに行きたいというニーズに応えるため、少人数で商店へ連れていく買物ツアーも実施している。(500円/回)
- ・潜在的な利用者へ情報を伝達するために、民生委員の定例会で情報提供したり、社協だよりに掲載したりしている。



### 事業のイメージ



### 開始時の課題と解決策

サービス自体を知らない住民が多いため、利用を必要としている人へ周知できるよう努力している。広報誌に掲載するだけでなく、色々なネットワークを通じて利用の可能性のある住民へ直接情報を届けるようにしている。

### 今後の展望・メッセージ

地域の支え合いを推進し、買物だけでなく、地域の見守り、相互理解が進み、色々な助けになればという想いで実施していく。

# (参考)令和5年度石見地域買物弱者支援制度

自治体	事業名称	概要	担当課 連絡先
島根県	地域商業等 支援事業	県内において、小売店に係る開店計画又は事業承継計画を有し、食料品・日用品の販売により地域住民の買物不便対策に資する事業を実施する者を市町を通じて支援。 また、県内において、地域住民の消費生活を維持する上で不可欠である移動販売又は宅配事業の開店計画を持つ者又は既に事業を実施している者を市町を通じて支援。	中小企業課 0852-22-6055
島根県	小さな拠点 づくり生活 機能維持・ 確保推進事 業補助金	中山間地域に安心して住み続けることができるよう、市町村が各種団体等と連携し、「小さな拠点づくり」における実践活動の新たな実施又は実践活動の充実及び継続を支援。	中山間・離島 振興課 0852-22-6449
浜田市	商業支援事 業	地域住民の消費生活を維持する上で不可欠であると判断される移動販売事業又は宅配事業に対し、必要な車両及び備品購入等や燃料費等の経費に対する補助を実施。	商工労働課 0855-25-9501
浜田市	見守り移動 販売支援事 業	市内に主たる事務所又は事業所を有する事業者が見守り活動を伴う移動販売を実施した場合、移動販売の区分に応じて費用の一部を補助。※地域自治組織と見守り活動を伴う移動販売について連携することを定めた協定書等を締結する必要あり。	地域活動支援 課 0855-25-9201
浜田市	コミュニティ ワゴン運送 支援事業	地域住民自らが主体的に高齢者等交通弱者の移動手段を確保する運送活動を行うことに対し、その活動を実施する住民組織を支援。	地域活動支援 課 0855-25-9201
浜田市	あいのりタ クシー等運 行支援事業	市内のタクシー事業者等の貸切運送によって高齢者等の交通手段を確保する事業(通称:あいのりタクシー等)に取り組む地区まちづくり推進委員会に対し、その事業に要する費用の一部を補助。	地域活動支援 課 0855-25-9201
益田市	地域商業等 支援事業	市内において、地域住民の消費生活を維持する上で不可欠である移動販売又は宅配事業の開店計画を持つ者若しくは既に事業を実施している者を支援。	産業支援セン ター 0856-31-0341



# (参考)令和5年度石見地域買物弱者支援制度

自治体	事業名称	概要	担当課 連絡先
大田市	お買い物サポート事業	市内において、食料品・日用品の移動販売により地域住民の買物不便対策に資する事業を実施する中小企業者、個人等を対象に、車両・備品等の購入費を補助。	産業企画課 0854-83-8073
江津市	地域商業等支援事業	市内において、食料品・日用品の移動販売を行う中小企業者、個人等を対象に、車両・備品の購入費、広告宣伝費等を支援。	商工観光課 0855-52-7494
美郷町	地域商業等支援事業費補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開店に必要な店舗改修費、建築費、建物取得費、備品購入費、備品リース料、家賃、広告宣伝費を補助。</li> <li>・移動販売又は宅配に必要な車両及び備品の購入、広告宣伝費、運営に要する燃料費等を補助。</li> </ul>	産業振興課 0855-75-1214
川本町	地域商業等支援事業費補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内において小売業の開店計画又は事業承継計画を有している事業者に対し、開店資金等を補助。</li> <li>・日用品、食料品の移動販売を行う業者に対し、事業に係る必要経費を補助。</li> </ul>	産業振興課 0855-72-0636
邑南町	公共交通空白地輸送運行経費補助金	地域内における自主的な地域交通の安定化を図ることを目的に、邑南町内でNPO法人等が行う公共交通空白地輸送運行経費に対して補助金を交付。	地域みらい課 0855-95-1117
邑南町	地域商業等支援事業費補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開店に必要な店舗改修費、建築費、建物取得費、備品購入費、備品リース料、家賃、広告宣伝費を補助。</li> <li>・移動販売又は宅配に必要な車両及び備品の購入、広告宣伝費、運営に要する燃料費等を補助。</li> </ul>	産業支援課 0855-95-2565
津和野町	商業等支援事業費補助金	食料品・日用品の移動販売又は宅配を行うための新規事業に必要な改修費や備品購入費を支援	商工観光課 0856-72-0652
吉賀町	地域商業等支援事業費補助金	移動販売を実施している業者や、買物不便対策に資する業者に対して備品購入費、改修費等を支援	産業課 0856-79-2213
吉賀町	移動販売事業支援補助金	移動販売を行う中小企業者(町内に主たる事務所又は事業所を有する者)に対して移動販売の運営に要する燃料費を支援	産業課 0856-79-2213

事例集に関するお問い合わせ先

島根県西部県民センター 商工観光部商工振興課

TEL 0855-29-5649 FAX 0855-22-5306